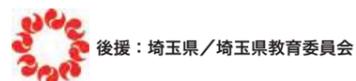


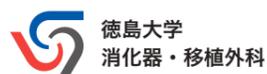


公益財団法人
風に立つライオン基金
THE LION STANDING AGAINST THE WIND FUND FOUNDATION SINCE 2015

後援



協賛



特別応援



協力

特定非営利活動法人 学校マルチメディアネットワーク支援センター



THE LION STANDING
AGAINST THE WIND
FUND FOUNDATION
SINCE 2015

君の志を応援します！

高校生ボランティア・アワード 2017

君の志を応援します！

今年、2回目となりました「高校生ボランティア・アワード」も、ご参加くださった皆さんのおかげで大盛会のうちに2日間の日程を終えることができました。

全国の高校生の皆さんが日頃から続けている「ささやかで偉大な活動」を応援する「顕彰プロジェクト」として、昨年國學院大學をお借りして始めた大会ですが、今年はさいたまスーパーアリーナという大きな会場に場所を移し、発表方法も大きく変わりました。主催者である私たちもそうですが、昨年も出場してくださった皆さんは戸惑われたかも知れません。

それでも、本来「志」を同じくする者同士が集い、励まし、語り合う「交流会」として昨年以上の活発な交流を感じることができ、主催者としてこれ以上の喜びはありません。

この大会を通して得た経験が、皆さんのこれからの活動に役立つことを心から祈念しています。

2017年8月31日

公益財団法人
風に立つライオン基金

参加校一覧

発表大会参加校

北海道	市立札幌開成中等教育学校／ボランティア局 「Think Globally, Act Locally」～地球規模で考えながら、自分の地域で活動する～
北海道	北海道標茶高等学校／標茶おもてなしプロジェクト 外国クルーズ船乗客おもてなしボランティア
北海道	北海道函館水産高等学校／北のくにづくりチーム 北による環境・観光・街起こしボランティア
青森県	青森県立久井農業高等学校／TEAM FLORA PHOTONICS 花のチカラ ～三陸復興国立公園のサクラソウ自生地の保全活動～
宮城県	宮城県名取北高等学校／奉仕活動部 「小さな優しさの積み重ね」～被災地に暮らす高校生ボランティア活動～
宮城県	宮城県農業高等学校／科学部復興プロジェクトチーム 明日を生き 人をつなぐサクラへ
宮城県	宮城県村田高等学校／JRC 部 心温まる地域に密着した活動
秋田県	秋田県立大曲農業高等学校／生物工学部 クニマスの輝輝とクニマス文化の継承のために～生き物と文化の関わり～
茨城県	茨城県立岩井高等学校／生徒会・有志 ボランティアは人の為ならず～deserves smile back～
栃木県	栃木県立宇都宮高等学校／JRC 部 「地域と連携した防災講座」
群馬県	群馬県立前橋商業高等学校／インターアクト部 「地域に親着すボランティア」
群馬県	群馬県立尾瀬高等学校／理科部 尾瀬ニホンジカ調査とネイチャークラブ～それぞれの15年～
群馬県	群馬県立利根実業高等学校／生物資源研究部 イノシシの生態・行動調査と侵入防除編の製作
埼玉県	星野高等学校／国際文化部 ☆Welcome to Kawagoe ☆外国人観光客へのボランティアガイド
埼玉県	埼玉県立浦和高等学校／定時制生徒会 クリーンアップ作戦
埼玉県	川口市立泉陽高等学校／川口市立泉陽高等学校 世界に目を向けよう
埼玉県	立教新座高等学校／学友会 大学と連携したボランティア活動
埼玉県	埼玉県立川越総合高等学校／川越救援隊 東北復興ボランティア 気仙沼に梅の防潮林を
埼玉県	埼玉県立本庄高等学校／TEAM 柏 東北復興ボランティア
埼玉県	埼玉県立狭山緑陽高等学校／生徒会 狭山市におけるボランティア活動
埼玉県	さいたま市立浦和高等学校／青少年赤十字 JRC 世界の友へ 笑顔と共に！
埼玉県	埼玉県立栗橋北彩高等学校／ボランティア同好会 予防的ボランティア
埼玉県	本庄第一高等学校／生徒会 曹生の時間 復興支援活動
千葉県	千葉県立国分高等学校／バトントワリング部 地域との交流
千葉県	千葉県立国府台高等学校／理科研究部 タフナビオトープを広めよう ～誰にもどこでも簡単にできるビオトープから地域の自然復元調査まで～
千葉県	千葉県立船橋芝山高等学校／科学研究部 生物班 人と人との繋がりを通してホテルの光
東京都	東洋高等学校／ボランティア部 東洋高校ボランティア部 活動報告
東京都	小野学園女子高等学校／バルーンアート・ハンドクラフトクラブ バルーンアートで夢を膨らませよう
東京都	東京都立蒲田高等学校／ボランティア部 みんなのためのボランティア
東京都	安田学園高等学校／生徒会 ワン次郎でボランティア
東京都	東京都立多摩工業高等学校／JRC 部 地域連携活動「近隣小学校へ出向いて「ものづくり教室」オープン」
東京都	東京都立杉並総合高等学校／とびたってみました、スギソウ組 Team F 持続可能な国際ボランティア インドネシア孤児院奉仕活動
東京都	青山学院高等部／ボランティア部 何ができるかを知ってわかること
東京都	立志舎高等学校／ボランティア同好会 日々のボランティア活動
東京都	東京都立田柄高等学校／ボランティア部 できることを、できる範囲で、楽しみながら♪
東京都	桜丘高等学校／JRC 部 国際ボランティア
東京都	東京都立国際高等学校／国際協力ボランティア同好会 コクサイ協力
東京都	大妻中野高等学校／JRC 部 手話・点字体験
東京都	東京学芸大学附属国際中等教育学校／ボランティア部 KIFU no Chikara Fes. ～寄付のミエルヒ～
東京都	豊南高等学校／手話部 手話で生きる人たちと共に生きる
東京都	八王子高等学校／ボランティア部 地域に根差した様々なボランティア
東京都	東京都立大崎高等学校／防災活動支援隊 支え合い共に生きる
東京都	獨協高等学校／緑のネットワーク委員会 僕らは環境ファシリテーター ～つなごう地域の子どもたち～
東京都	白百合学園高等学校／ボランティア委員会 年間を通じて自分達にできるボランティア活動を考え、クラスメートと共有していく
東京都	白百合学園高等学校／ゆりごころ 東日本大震災の被災地訪問
東京都	白百合学園高等学校／小百合会 ボランティア活動を通して、思えない方々に援助を。
東京都	白百合学園高等学校／きらきら星ネットとの共催でのクリスマス会 きらきら星ネットとの共催でのクリスマス会

東京都	実践学園高等学校／環境プロジェクト 都心に生き物のいこいの場を 一層上ビオトープ「実践の森」での研究とエコ活動～
神奈川県	日本女子大学附属高等学校／人形劇団ベロッコ 人形劇を通してのボランティア活動
神奈川県	神奈川県立吉田島高等学校／農業クラブ 草花部 幻の里芋「開成第一芋」から広がる地域の輪／杜仲茶を神奈川県の特産品に！！／町を笑顔にするプロジェクト
神奈川県	慶應義塾湘南藤沢高等部／環境プロジェクト 教育に新たな風を～eco 出前授業
神奈川県	神奈川県立吉田島高等学校／農業クラブ 果樹部 善哉からミカンを守る～甘いミカンを作り隊～
神奈川県	法政大学女子高等学校／エコ・アクション・プロジェクトチーム 里山再生 ～大人から子どもたちが一緒に汗を流し、遊び、食べ、そして学べる広場の森を創ろう！～
神奈川県	立花学園高等学校／インターアクトクラブ ボランティア活動を通じて、社会に貢献する
静岡県	静岡県立富岳館高等学校／健康福祉系列 高校生による地域寄り合い型の運営
静岡県	静岡県立磐田農業高等学校／高校生農業塾 ☆きらきら☆ メロンの運び物で被災地に元氣と笑顔を送る！！
静岡県	静岡市立清水桜が丘高等学校／パソコン部 デジタルボランティア
静岡県	静岡県立富岳館高等学校／ヤーコン研究班 ヤーコンを世界に！
静岡県	静岡県立駿河総合高等学校／「M-S-I-P-P」 フェアトレードとエシカル消費～Everyone Everyday Ethical～
山梨県	身延山高等学校／手話コミュニケーション部 共生社会の実現 ～聴覚障がいへの理解と手話の普及を目指して～
山梨県	山梨英和高等学校／YWCA ひまわり部 笑顔がつかなく終～食べ物・奉仕を届けます～
長野県	長野県下高井農林高等学校／園芸福祉クラブ 地域とともにいきいき！私たちが目指す園芸福祉交流
長野県	長野県駒ヶ根工業高等学校／助っ人同好会 技術で地域貢献、駒ヶ根で被災地支援プロジェクト
長野県	エクセラシオン高等学校／環境科学コース 長野県から「フクシマを忘れない！」プロジェクト
福井県	北陸高等学校／弓道部 ユニセフチャリティアーチェリー大会を主催！
石川県	石川県立津幡高等学校／朱鷺サポート隊 トキを通して生物多様性の普及・啓発活動
富山県	龍谷富山高等学校／生徒会 「感謝～読み続ける読書生～」
富山県	富山県立砺波工業高等学校／工学部 おもちゃの病院と地域イベントでの子どもたちとの交流
岐阜県	岐阜県立岐阜工業高等学校／化学研究部 いやなみらいをけしける！
岐阜県	岐阜県立岐山高等学校／生物部 カワニナ班 地域の生物多様性を守る活動～ホテルの乱舞は必要か～
愛知県	桜花学園高等学校／インターアクトクラブ「しあわせ届け隊」 「しあわせ届け隊」の実践と活動報告
愛知県	光ヶ丘女子高等学校／点訳部 広げよう点字の世界
愛知県	名古屋経済大学市邨高等学校／ボランティア同好会 ボランティア活動報告～障がい者との共生を目指して～
三重県	セントヨゼフ女子学園高等学校／セントヨゼフ女子学園 学園会 ウォーカン
滋賀県	滋賀県立八日市南高等学校／地域支援活動同好会 東北ボランティア活動と地域支援活動
京都府	京都府立綾部高等学校／分析化学部 地域と歩む田園川保全プロジェクト
京都府	洛南高等学校／ボランティア同好会 子どもの居場所に関わるボランティア活動
京都府	立命館宇治高等学校／がまだす KUMATOMO 高校生による震災復興支援
大阪府	大阪府立枚岡樟風高等学校／瓢箪山戦隊SHOWフウジャー（地域貢献部） ～地域密着型にヒーローで地域を活性化～地域と学校の架け橋に
大阪府	大阪府立佐野高等学校／ユネスコ部 Link Vegetably, Love Locally
兵庫県	兵庫県立柏原高等学校／ボランティア部（インターアクトクラブ） 多言語防災紙芝居による防災教育の地域への普及活動
兵庫県	兵庫県立神崎高等学校／ボランティア部・インターアクトクラブ 今、私たちにできること！
兵庫県	神戸市立科学技術高等学校／空飛ぶ車いす研究会 使われなくなった車いすを修理・整備しアジア諸国へ届ける活動
兵庫県	相生学院高等学校 明石校／創作絵本ベンチプロジェクト ベンチくんと共に全国、世界に届け、「勇気とささえ愛！！」
兵庫県	神戸龍谷高等学校／JVC（ジュニアボランティアクラブ） ネパール教育支援活動
和歌山県	和歌山県立那賀高等学校／NAGA-B.C.C. ぼくらの和歌山プロジェクト
島根県	島根県立平田高等学校／JRC 部 地震災害を想定して、私たち高校生が「気づき・考え・実行」できること～活動の輪を自分→校内→地域へ～
岡山県	山陽女子高等学校／地歴部 マイクログラスチック～見えにくい環境問題へのアプローチ～
岡山県	おかやま山陽高等学校／硬式野球部 世界の笑顔のために
広島県	広島市立広島工業高等学校／広島市エグリーン・プロジェクト 高校生による、持続可能な社会の実現～ものづくり技術を活かした地域貢献を目指して！～
広島県	福山暁の星女子高等学校／生徒会奉仕係 おにぎり当募金～私達の35年の歩み～
徳島県	徳島県立新野高等学校／緑のリサイクル・ソーシャル・エコ・プロジェクトチーム 「刈草堆肥」でストップ温暖化！
徳島県	徳島県立小松島高等学校 勝浦校／緑のリサイクル・ソーシャル・エコ・プロジェクトチーム 「刈草堆肥」でストップ温暖化！
徳島県	徳島市立高等学校／Donor actoin in Tokushima 若者から意思表示の輪を

参加校一覧

香川県	坂出第一高等学校／食物科料理研究部 食のアンテナショップ SAKAIDE	佐賀県	佐賀県立鳥栖商業高等学校／インターアクト部 Shine Dream ～未来のこともたちのために虹の橋を架けよう～
愛媛県	愛媛県立宇和島水産高等学校／水産増殖科 ESDの観点による宇和海の環境保全活動	長崎県	長崎県立島原農業高等学校／食品加工部 パッションフルーツと地域資源を用いた新商品開発・普及活動～島原の恵みで地域連携～
高知県	高知県立伊野商業高等学校／和紙研究会 土佐和紙の魅力を世界に発信！	熊本県	熊本県立阿蘇中央高等学校／草原再生プロジェクト班 阿蘇の草原を未来へ
高知県	高知県立中村高等学校 西土佐分校／地域ボランティア隊 Report 報(報)	熊本県	熊本県立鹿本農業高等学校／バイオ研究会 くまもとの地域資源活用プロジェクト
福岡県	福岡県立水産高等学校／アクアライフ科 豊かな海づくり～Project T～	鹿児島県	鹿児島県立鹿屋高等学校／インターアクト部 輝煌・笑い・感謝～おしまず おこらさず おこらさず 三星旗 五十年！～
福岡県	福岡県立水産高等学校／理科部 開けよう!! 3つの扉～夜空の明るさ・広谷温泉・再生チョコレート	沖縄県	沖縄県立中部農林高等学校／エコ・リサーチ部 美ら島を守る高校生挑戦！～伝統ある蘭草が結ぶ絆のマル～

ポスター・動画発表校

M 青森県	青森県立十和田西高等学校 十和田(ラ)焼きゼミナルパートナー「青森県立十和田西 観光PRセンター」 つなく ころろ つなく! 本気の大人と本気の高校生とのまちおこし	M 神奈川県	川崎市立川崎高等学校 福祉ボランティア部 福祉ボランティア部「手話コース」	P : ポスター発表
P 宮城県	尚綱学院高等学校 インターアクトクラブ まいぶるかべしんぶん	P 富山県	富山県立中央農業高等学校 河川環境を守り隊 特定外来生物オオキンケイギクの駆除	M : 動画発表
M 福島県	福島県立須賀川高等学校 JRC 部 地域に根ざし地域を支える活動の継続	P 愛知県	愛知県立津島北高等学校 商業活性化部 今、私たちができること	
P 茨城県	水戸女子高等学校 インターアクトクラブ VIVA!! 水戸女子インターアクト	P 大阪府	大阪府立園芸高等学校 ピオトーブ部 森林生物に配慮したカシノナガキクイムシのトラップ防除法の研究と普及活動	
P 群馬県	伊勢崎市立四ツ葉学園中等教育学校 JRC・インターアクト部 私たちにできること② 地域活動への参加協力	P 大阪府	金蘭会高等学校 ボランティア有志 特別養護老人ホーム訪問	
P 千葉県	船橋市立船橋高等学校 JRC 同好会 東日本大震災における被災者の自家用車を洗車・ワックスかけ	P 大阪府	金蘭千里高等学校 ボランティア部 点字本製作等による社会貢献	
P 東京都	愛国高等学校 インターアクトクラブ 奉仕活動	M 兵庫県	神戸大学附属中等教育学校 フードバンク 日本の食料廃棄と食糧問題を解決するために～フードバンクを通して～	
P 東京都	お茶の水女子大学附属高等学校 オブブルプロジェクト Education First ～Research → Action～	P 奈良県	奈良県立御所実業高等学校「生物多様性の保全」研究班 生物多様性ならプロジェクト	
P 東京都	順天高等学校 社会福祉部 ハンディキャップを持った人々と私たち	M 香川県	香川県立高松商業高等学校 書道部 地域イベントを善通パワーマンスで盛り上げる!!!	
P 東京都	東京女子館高等学校 ボランティア部 女子高生の女子高生による女子高生のためのボランティア	M 愛媛県	新田青雲中等教育学校 手話部 えひめ国体イメージソングの手話動画	
P 東京都	東京都立田無工業高等学校 生徒会 みんなが笑顔になれる行動を	P 福岡県	福岡県立小倉工業高等学校 インターアクトクラブ 地域活動等における社会福祉活動	

ライオン・ユースクラブ 認定校

北海道	北海道阿寒高等学校 ボランティア部	神奈川県	横須賀学院高等学校 インターアクト部	和歌山県	和歌山県立熊野高等学校 kumano サポーターズリーダー
北海道	北海道標茶高等学校 地域環境系列	神奈川県	横浜国立大学横浜総合高等学校 ボランティア部	和歌山県	和歌山県立海南高等学校 美里分校 生徒会
北海道	北海道帯広南商業高等学校 ボランティア部	神奈川県	茅ヶ崎北陵高等学校 JRC 部	和歌山県	開智高等学校 生徒会
北海道	江陵高等学校 福祉クラブ	神奈川県	神奈川県立麻生高等学校 GCC	和歌山県	和歌山県立伊都中央高等学校 生徒会・地域連携部
北海道	双葉高等学校 奉仕活動部	富山県	富山県立水見高等学校 JRC 部	島根県	出雲西高等学校 インターアクトクラブ
青森県	青森県立七戸高等学校 青少年赤十字部	岐阜県	岐阜市立岐阜商業高等学校 岐阜市立岐阜商業高等学校	島根県	出雲北陵高等学校 インターアクトクラブ
宮城県	仙台白百合学園高等学校 社会奉仕部小百合会	静岡県	静岡県立佐久間高等学校 フェアフル委員会	岡山県	山陽女子高等学校 JRC 部
宮城県	宮城県本吉響高等学校 ハンドインハンド部	静岡県	静岡県立磐田北高等学校 ひまわりの会	岡山県	岡山県立倉敷中央高等学校 福祉部
宮城県	宮城県石巻商業高等学校 生徒会執行部	静岡県	静岡県立掛川東高等学校 ボランティア部	広島県	広島なぎさ高等学校 ボランティア部
宮城県	聖和祭実行委員会	静岡県	静岡県立富岳館高等学校 農業クラブ	広島県	清水ヶ丘高等学校 インターアクトクラブ
山形県	山形県立村山産業高等学校 農業部バイオテクノロジー班	静岡県	静岡県立金谷高等学校 ボランティア同好会	山口県	山口県立豊北高等学校 ボランティア研究会
福島県	福島県立平工業高等学校 生徒会	愛知県	豊川高等学校 インターアクトクラブ	香川県	香川県藤井高等学校 生徒会
福島県	福島県立あさか開成高等学校 読み聞かせボランティア部オイガ	愛知県	福山女子学園高等学校 社会福祉部	香川県	香川県立三木高等学校 ボランティア同好会
福島県	福島県立あさか開成高等学校 JRC ボランティア委員会	愛知県	中部大学春日丘高等学校 インターアクトクラブ	愛媛県	愛媛県立新居浜高等学校 地域・国際研究部
茨城県	茨城県立伊奈高等学校 JINA	愛知県	愛知県立豊田工業高等学校 チーム AMITAMA	愛媛県	愛媛県立宇和島東高等学校 ボランティア部
群馬県	群馬県立松井田高等学校 吹奏楽部	愛知県	南山高等学校女子部 小百合会	高知県	高知県立嶺北高等学校 嶺北 ECOFLUGELS
千葉県	国府台女子学院高等部 ボランティア部	愛知県	名古屋大谷高等学校 生徒会	高知県	清和女子高等学校 清和ユネスコスクールプロジェクト 実行委員会 ユネスコ環境プロジェクト
千葉県	千葉県立館山総合高等学校 インターアクト部	愛知県	愛知啓成高等学校 ボランティア部	佐賀県	佐賀清和高等学校 インターアクト部
千葉県	安房西高等学校 JRC 部	愛知県	日本福祉大学付属高等学校 国際協力部	長崎県	長崎県立佐世保北高等学校 長崎県北地区部 高校生 1万人署名活動・1万本鉛筆運動
東京都	お茶の水女子大学附属高等学校 アフガンボランティア部	三重県	鈴鹿高等学校 くおーれ	長崎県	長崎女子高等学校 インターアクトクラブ
東京都	淑徳巣鴨高等学校 英子文会	滋賀県	滋賀県立八幡高等学校 社会福祉部	熊本県	熊本県立玉名工業高等学校 JRC 部
東京都	藤村女子高等学校 児童文化部	京都府	京都府立京都八幡高等学校 ボランティア部	熊本県	熊本県立熊本商業高等学校 JRC 部
東京都	東京都立目黒高等学校 生徒会	大阪府	大阪府立東百舌鳥高等学校 東百舌鳥高等学校 有志	大分県	大分県立国東高等学校 JRC 部
東京都	東京都立足立東高等学校 ボランティア部	大阪府	大阪府立堺工科高等学校 生徒会執行部	大分県	大分県立臼杵高等学校 ユネスコ部
東京都	京華女子高等学校 ボランティア同好会	兵庫県	兵庫県立東播磨高等学校 生徒会	鹿児島県	鹿児島県立野田女子高等学校 ボランティア部
東京都	東京都立田無工業高等学校 クラブ部	兵庫県	芦屋学園高等学校 ボランティア部	鹿児島県	鹿児島純心女子高等学校 純心ボランティア部
東京都	蒲田女子高等学校 JRC 部	兵庫県	兵庫県立但馬農業高等学校 ボランティア部	沖縄県	沖縄県立宜野座高等学校 ボランティア部
東京都	東京都立橘高等学校 ボランティア同好会	兵庫県	神戸常盤女子高等学校 ボランティア部		
東京都	攻玉社高等学校 ボランティア愛好会	奈良県	橿原学院高等学校 インターアクトクラブ		

鉛筆投票結果 & 各表彰校紹介

ボランティア活動に優劣はないと考え、全校を表彰していますが、100校以上が一堂に会してブース発表をするという、いわばプレゼン大会でもあり、様々な趣向を凝らした発表に対して、一般のお客様から鉛筆投票をしていただき、ゲスト応援団の方々も特に気になった学校を選んでもらうことで、順位を付けるという意味ではない、「特別表彰校」を選ばせていただきました。選ばれた学校にとっても、選ばれなかった学校にとっても、今後の活動をする上でのモチベーションになればと願っています。

鉛筆投票結果 (BEST 10)



- | | |
|---|--|
| 1 埼玉県 星野高等学校 国際文化部…132 本 | 6 群馬県 群馬県立前橋商業高等学校 インターアクト部…112 本 |
| 2 栃木県 栃木県立宇都宮高等学校 JRC 部…130 本 | 7 島根県 島根県立平田高等学校 JRC 部…105 本 |
| 3 三重県 セントヨゼフ女子学園高等学校 セントヨゼフ学園学友会…129 本 | 8 神奈川県 慶應義塾湘南藤沢高等部 環境プロジェクト…97 本 |
| 4 福井県 北陸高等学校 弓道部…128 本 | 9 東京都 獨協高等学校 緑のネットワーク委員会…95 本 |
| 5 東京都 小野学園女子高等学校 バルーンアート・ハンドクラフトクラブ…124 本 | 10 東京都 東京都立国際高等学校 国際協力ボランティア同好会…84 本 |
| | 10 兵庫県 相生学院高等学校 明石校 創作絵本ベンチプロジェクト…84 本 |

特別表彰校

<p>金賞 (さだまさし賞)</p> <p>活動タイトル 世界の笑顔のために</p>	<p>岡山県 おかやま山陽高等学校／硬式野球部</p>	
<p>銀賞 (鎌田賞)</p>	<p>兵庫県 神戸市立科学技術高等学校／空飛ぶ車いす研究会</p> <p>活動タイトル 使われなくなった車いすを修理・整備しアジア諸国へ届ける活動</p>	
<p>銅賞 (国境なき医師団賞)</p>	<p>三重県 セントヨゼフ女子学園高等学校／セントヨゼフ女子学園 学園会</p> <p>活動タイトル ウォーカソン</p>	
<p>小林幸子賞</p>	<p>岡山県 山陽女子高等学校／地歴部</p> <p>活動タイトル マイクロプラスチック～見えない環境問題へのアプローチ～</p>	
<p>ゼロ賞</p>	<p>兵庫県 相生学院高等学校 明石校／創作絵本ベンチプロジェクト</p> <p>活動タイトル ベンチくんと共に全国、世界に届け、「勇気とささえ愛!!!」</p>	
<p>テツ and トモ賞</p>	<p>埼玉県 星野高等学校／国際文化部</p> <p>活動タイトル ☆Welcome to Kawagoe☆外国人観光客へのボランティアガイド</p>	
<p>若旦那賞</p>	<p>山梨県 身延山高等学校／手話コミュニケーション部</p> <p>活動タイトル 共生社会の実現～聴覚障がいの理解と手話の普及を目指して～</p>	
<p>ももいろクローバーZ賞</p>	<p>群馬県 群馬県立利根実業高等学校／生物資源研究部</p> <p>活動タイトル イノシシの生態・行動調査と侵入防護柵の製作</p>	

高校生ボランティア・アワード2017 サマリー

参加校数: 138校 参加団体数: 145団体 参加生徒数: 4,230人

高校生 VOLUNTEER AWARD 2017

PHOTO ALBUM

高校生 VOLUNTEER AWARD 2017
1日目

1

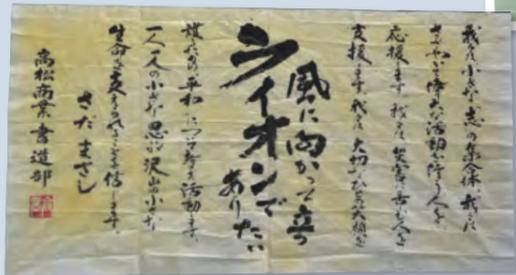
1日目

8.9.Wed

TIMETABLE

- 12:00 開会式
- 13:00 一般開場 一般来場者受付
- 13:00 ブース発表大会/表彰 & 記念撮影
- 17:00 レセプション
- 18:00

昨年の4倍以上となる101校が参加し、さいたまスーパーアリーナ・コミュニティアリーナという広いスペースで開催された「高校生ボランティア・アワード2017」。発表形式も大きく変わり、賑やかな大会となりました。

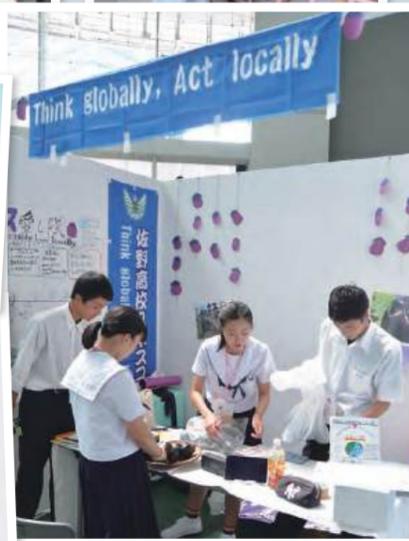


準備

当日は受付を済ませ緊張しながらブース発表の準備。日頃の活動の様子を説明するためにポスターやグッズ、模型を持ち込んだり、実物展示をしたり、創意工夫とバラエティに富んだブースをつくっていく参加生徒の皆さん。



ていねいに、
ていねいに



そっちゃんんと貼れたか?



入念にチェックしながら
ブースをつくりあげてい
きます。



開会・表彰式

夏の日差しが照りつける大会初日は、長崎原爆の日。「命の大切さを思いながら、戦争がなくなるようにと思いを込めて」大会委員長さだまさしの呼びかけで、冒頭、参加者全員による黙祷が捧げられました。そして開会式。司会は澤田南さん。テツ and トモのお二人も加わり、ご来賓協賛企業のご紹介を経て、いよいよ応援団の登場へ。

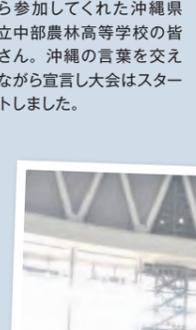


ももいろクローバーZさんの登壇に、イベントステージ前に集まった高校生たちの熱気は急上昇。若旦那さん、セロさん、小林幸子さんと共に、華やかさが増えています。



志を同じくする参加各校との交流、自らの活動に対する意識を深め、イチャリパチョーデー（一度会ったら皆兄弟）突りある二日間にすることを誓います。イッペーニヘーデービル（どうもありがとうごさいます）。

開会宣言は、最も遠くから参加してくれた沖縄県立中部農林高等学校の皆さん。沖縄の言葉を交えながら宣言し大会はスタートしました。



ハイ、チーズ



ステージ上では、早速、表彰式。トモさんのコールで活動内容を紹介されながら、一枚ずつステージに上がり、表彰状と記念品が授与され、応援団と並んでの記念撮影が行われました。

ブース発表

審査員の皆さまをはじめ特別応援団の皆さんも積極的に高校生と話し生徒同士も他のブースの発表を聞き合ったりしながら交流を深めていきました。会場内の発表ブースでは、パソコンを使った動画や、着ぐるみ、ジオラマ、人形劇など、工夫を凝らした展示が見られ、真っ直ぐで熱心な説明が見学者の胸を熱くします。参加できなかった学校のポスター発表や、復興地の支援ブース、協賛企業ブースなどもあり、見所盛りだくさんでした。



「すごいね」「えらいね」と言いながら高校生の説明に聞き入るもいるクローバーZの皆さん。



若旦那さん、大きい!



応援団のセロさんも、高校生のブース発表に聞き入っていました。



気さくに話しかける若旦那さんに緊張気味の生徒たちも笑顔に。



いろんなPRの方法があるねー。



「見に来てください!」ブースを離れて入場者にアピールする姿も。



バルーンアートを実際に体験しているテツ and トモのお2人



海底ゴミ問題に取り組んでいます。



本物? 模型かしら?



応援団の小林幸子さんも説明を真剣に聞き入っていました。



エコキャップを集めて、海外の子供たちにワクチンを送るんだね。(被災地の熊本にも行ったんだ、すごいね。)



レセプション

1日目ブース発表終了後はレセプション交流会。同時にメインステージでは東京 MX テレビ系列「5時に夢中!」の生放送!「さいたまスーパーアリーナ高校生ボランティア・アワード! 便乗SP!」と題し、イベントステージがスタジオに早変わり。



司会のふかわりょうさん、上田まりえさん、ゲストコメンターの美保純さん、江原啓之さん、おおたわ史絵さんと共に皆さまをはじめ応援団の皆さんもゲスト出演し会場は大いに盛り上がりました。



黒船天気予報のコーナーでは発表参加校の千葉県立国分高等学校バントワリング部がパフォーマンスと天気予報を華麗に披露。南富良野町の池部彰町長も飛び入りご出演、ご挨拶されました。



8.10. Thu
2 日目

TIMETABLE

10:00	シンポジウム
12:00	一般開場 一般来場者受付
12:00	ブース発表大会
15:00	
16:00	チャリティーコンサート&特別表彰
19:00	

2日目は発表参加校生徒と国内外の命の現場で行動する6人の有識者の方々とパネリストを迎えシンポジウムが開催されました。司会は澤田さんと当法人評議員鎌田實。まずは共通のテーマで各氏のご意見をいただいた後、参加生徒からパネリストに寄せられた質問に直接答える形で進行されました。熱い討論が繰り広げられ、参加生徒の皆さんの中には、真剣に聞き入る生徒や必死にメモを取る生徒の姿も多く見受けられました。様々な苦悩の場面を乗り越えてきたボランティアの先達たちの

シンポジウム



言葉は、経験した人にしかわからない含蓄のあるものでした。今後、ボランティア活動を続けようとする生徒達が壁に直面した時にはきっと参考になると思います。シンポジウムはいろいろな意見で盛り上がり、時間内ギリギリまで尽きない様子でした。参加生徒もパネリストにとっても互いに刺激を受ける、とても有意義な意見交換の場となりました。抜粋してその一部をご紹介します。



高校生のうちから、見る・知る・背負うことを感じるにはどうすればいいですか。

(龍谷山高等学校)

野口：外交官をやっていた父親が言ったのは、ハッと見える世界はA面。行かないと見えないのがB面。世の中のテーマはB面にあると。まず、現場に行ってみる。何か一つできることがある。その一つを探しに行くんです。自分の身を守る準備をした上で、ボーンと現場に行ってみて、そこで探すといいかなと思います。

私たちはまだ高校生ですが卒業したあとにも社会に役立てるように現場に向かうということを習慣づけたいと思います。



野口 健

アルピニスト：高校時代に植村直己氏の著書に感銘を受け、登山を始める。1999年、エベレストの登頂に成功し、7大陸最高峰世界最年少登頂記録を25歳で樹立。エベレストや富士山に散乱するごみ清掃登山や2016年熊本地震では避難所としてテント支援など支援活動を積極的に行っている。

小さな命を守るために私たちにできることは何だと思えますか。

(安田学園高等学校)

公文：自分の命を大切に考えるところから始めると思っています。自分の命を大切にできない人は、他人の命を大切にできないと思っています。自分に、なぜ命が与えられているか、そのことを通して何ができるのかということを考えていくことが、一番大切なんじゃないかなと思います。

とても心を打たれました。人に親切に接するとか、私たちに出来ることで命を守れるのかなと思えました。



公文 和子

シロアムの園代表：小児科医として働く。2000年より海外。英国で熱帯小児医学修士取得。東ティモール、シエラレオネ、カンボジアでの仕事をを経て、2002年より現在までケニアで活動。2015年より障がいのある子どもたちとその家族を対象にした療育プログラム「シロアムの園」を創立。

スポーツの大会では、どのようなボランティア活動が行われていますか。

(神戸龍谷高等学校)

香西：体育館のモップ係をしてくれる方がいたり、会場の方々がいたり、選手村で清掃や洗濯をしてくれる方、食堂で働いている方など、本当にいろいろなところにいます。ボランティアさんがいないと大会自体が成り立たないので、調べてみると募集している活動がほとんど見つかると思います。

これからそのようなボランティアの機会があれば是非参加したいと思えました。



香西 宏昭

リオパラリンピック車椅子バスケットボール日本代表：1988年7月14日千葉県出身。先天性両下肢欠損(膝上)。小学6年(12歳)で車いすバスケットボールを始める。高1でU23の日本代表選手に選出。08年北京、12年ロンドン、16年リオデジャネイロパラリンピック出場。日本国内チームは「NOEXCUSE」所属。

高校生の時にしかできないことについて、これからの生活に活かしたいので教えてください。

(群馬県立尾瀬高等学校)

高橋：人生が長い線だとすれば、高校時代はその中の点だと思えます。その一点にとらわれるのではなく、これから先を見据えて生きていくことがとても大切なことです。未来は自分が向いた方向から流れてくる。自分がどの方向に向かって生きていこうかその目標を決めて、その方向に向かうことで道が開いていくと思います。私たちは一人で生きていくわけではない。沢山の人から支えられ大切に思われて生きています。そのことにしっかりと気付いて、私が今やっていることが人の幸せに繋がるかどうかということ自分の中の信念として是非とも考えてもらいたいと思います。

高校生の時間を大切にしながら、いろいろなことに挑戦してこれからの人生を楽しくできるように頑張りたいと思います。



高橋 英悟

曹洞宗吉祥寺住職：平成12年10月より岩手県大槌町吉里吉里地区の曹洞宗吉祥寺住職就任。東日本大震災発生の際には、孤立した地区への炊き出しや避難者を寺で受け入れ、遺体安置所で毎日供養を続けた。「生き証プロジェクト」の実行委員長として東日本大震災の犠牲者・行方不明者全員を記録に残す事業に取り組んでいる。

心を癒やすお医者さんを目指すにあたり、自分のストレスはどのように解消していますか。友達の相談に乗っていると、自分のことのように考えてため込んでしまうことがよくあり、解決策を知りたいです。

(慶應義塾湘南藤沢高等部)

平島：何かをやるうとした時には必ず違う意見の人が出て来ます。奄美大島の医療の温かさを全国に届けて日本の医療を変えたいと本当に思っていて、志のある医師を育てたいと思っていますが、必ず偽善だとか、そのやり方は正しいのか、ということをよく言われます。そんな時は仲間と話をするのが一番だと思っています。趣味としてはダイビングがストレス解消になっています。

同じ志を持つ仲間を作ろうと思います。ストレス発散に水泳をに行きます。



平島 修

徳洲会奄美ブロック総合診療医：2006年研修医時代に鹿児島県奄美大島の医療を経験し、心に触れる医療の大切さを知る。2013年より奄美大島での医療活動を開始。同時に全国の医学生・若手医師に身体診察の指導を通して手あての医療を広げる活動(年間約50回)、奄美住民の生の声を聞く医療座談会を積極的に行っている。



鎌田：被災地の方はそれぞれの状況を抱えて大変な思いをされています。相手の身になるということ、つまり相手に対する想像力。人間だからこそできる想像力がこそボランティア活動の一番大事な事ではないかと思えます。

(日本女子大学附属高等学校)



鎌田 實

諏訪中央病院名誉院長／風に立つライオン基金評議員：東京医科大学医学部卒業後、長野県・諏訪中央病院へ赴任。30代で院長となり、赤十字病院を再生。当時から「地域包括ケア」を実践し、長野県を長寿日本へ導いた。1991年よりベラルーシ共和国の放射能汚染地帯を支援(JCF)、2004年よりイラク支援(JIM-NET)、東北支援活動も行っている。

私は医者になりたいので医療などで人々を助けられるように色々な角度から物事を見て、想像力を働かせて被災者の方々の心を温かく、未来を明るく出来たらいいなと思えました。

加藤：お医者さんは全体の3割なので、参加するためにお医者さんや看護師さんになる必要はないんです。仕事は何でもいい。言葉は少し勉強して、いろんなことを知って、現実の世界には不公平なことがたくさんあるので、それに對して、仕方がないと思わなれている気持ちを持ち続けて欲しいと思います。

国境なき医師団にどうしたらなれますか。

(島根県立平田高等学校)

国境なき医師団日本団長／小児科医：1992年島根医科大学卒業。2001年にはタイ・マヒドン大学熱帯医学校において熱帯医学ディプロマを取得。2003年よりMSFの活動に参加し、スーダン、インドネシア、パキスタンでの活動や東日本大震災、熊本地震、エボラ出血熱に対する緊急援助活動にも従事。



加藤 寛幸

世界で苦しんでいる人々を国籍など関係なく人を救うことはとても大切なことだと思っています。興味を持った事は積極的に調べて行って高校を卒業した後などもこういったボランティア活動を続けていければいいなと思います。



次回の開催予定など最新情報は
公式ホームページでお知らせいたします。

公式HP <http://ボランティア・アワード.jp/>

-  高校生ボランティア・アワード@ライオン (<https://facebook.com/awardlion>)
 -  高校生ボランティア・アワード@ライオン (<https://twitter.com/volunteeraward>)
 -  award_lion
- #高校生ボランティアアワード #高校生ボランティアアワード 2017 #がんばれライオン 2017

高校生の皆さんへ

日本人にとって「ボランティア」の概念は近年大きく変わりつつあります。いわゆる「慈善活動」「善意の運動」というカミが無くなり、災害は勿論、社会的弱者や住環境に対して「自分に出来ることをする」のは当然だと考え、自然にボランティア活動を行う若者が増えました。その考え方や行動はまさにこの国の未来への希望だと思っています。また、人の為になにかをするというその活動が、自分自身をも高めて行くことにも気付くことでしょう。そんな青春の「志」を応援するために私達は『高校生ボランティアアワード』を行っています。日本中の高校生たちの熱意や着想、そして行動力を私達は讃えます。『風に立つライオン基金』はそうしたボランティアの「志」を支えたいと考えています。そしてこの「心のバトン」が未来へと繋がってゆくことを祈ります。

感謝を込めて。

公益財団法人
風に立つライオン基金
設立者・理事

さだまさし



長崎市出身。シンガー・ソングライター、小説家。ヴァイオリン修行のため、小学校卒業と同時に単身上京。'73年フォークデュオ・グレープとしてデビュー。'76年ソロ・シンガーとして活動を開始。「関白宣言」「秋桜」「北の国から」など数々の大ヒット曲を生み出す。通算4,200回(2017年8月現在)を超えるコンサートのかたわら、小説家としても「解夏」「風に立つライオン」「ちゃんぼん食べたかっ!」など10作品を発表。東日本大震災以来、日本各地で頻発する自然災害の被災地への支援を積極的に行っており、永続的な社会貢献をするために2015年8月10日に「一般財団法人 風に立つライオン基金」を設立。